

高高サイエンスキャンプ

1 目的

SSH 事業の経験のある本校 OB による講義・談話会を通じて、科学的・論理的思考力を伸ばすとともに、OB との交流を今後の自身の進路選択や学習に活かす。

2 概要

(1) 日程

令和7年8月9日(土) 9:30~15:40

<午前の部>

9:15 Zoom にサインイン

9:30 開会・諸連絡

9:35 OB による講義①(布施 智也 氏)

10:35 OB とのグループセッション

<午後の部>

12:15 Zoom にサインイン

12:20 OB による講義②(井田 宏一 氏)

13:30 2年 SSH クラス課題研究発表会

15:40 諸連絡・閉会

(2) 内容

① 高高 OB による講義

午前は、SSH 指定第Ⅲ期経験者である布施智也氏(東北大学大学院薬学研究科 博士前期課程 1年)による OB 講義①を実施した。発表テーマは「カビをハッキングして薬を創る」であった。

午後は、SSH 指定第Ⅱ期経験者である井田宏一氏(デクセリアルズ株式会社)による OB 講義②を実施した。発表テーマは「材料のモノづくりを通じた社会への貢献」であった。

② OB とのグループセッション

分野別(一覧を参照)に現地と Zoom 上で談話室を設け、25分間×2展開で実施した。2~3人の OB と複数生徒という形態で、理系大学生と社会人の考え方を学んだ。

③ 2年 SSH クラス課題研究発表会

2年 SSH クラス生徒は課題研究の成果(発表4分+協議最大8分)を発表した。当日参加の OB か

ら多くのアドバイスをいただいた。

物理系	石井 雅人	筑波大学 構造エネルギー工学 学位プログラム 修士課程1年
化学系	布施 智也	東北大学大学院博士前期課程1年
機械工学系	佐伯 凜人	株式会社東海東京インテリジェンス・ラボ
	大橋 晴太	東京大学教養学部4年
都市環境工学系	輪島 秀太	株式会社アクセンチュア
情報科学系①	宝田 理	住友ファーマ株式会社
情報科学系②	坂本 聖	東京大学理科一類1年
	高野 泰朋	株式会社JIYU Laboratories
薬学系	井田 宏一	デクセリアルズ株式会社
	砂川 拓哉	株式会社IHI
医学系	島田 直弥	株式会社ジーシーシー
経済学系	本間 幸徳	NTT株式会社 人間情報研究所
文化教養系	柿沼 一雄	東北大学医学系研究科

略敬称

3 成果と課題

成果として、大学生や社会人 OB との交流が生徒の刺激となり、将来像を具体化する貴重な機会となっている点が挙げられる。特に接点の少ない県外企業勤務者の講義や談話会は希少性が高く、毎回好評を博している。一方、課題として、多忙な 30 代や入試・就活期の学生の参加確保が難しく、参加人数の不確定さや内容の固定化が懸念される。また、限られた時間内に過密なプログラムを詰め込んでいるため、活動の深掘りが十分にできていない。今後は実施時期の精査や内容の精選など、運営体制の適正化を図る必要がある。

